



# 梅津だより

KYOTO UMEDU PUBLIC ELEMENTARY

令和3年3月1日  
京都市立梅津小学校  
校長 瀬川 葉子

## 臨時号 学校評価アンケート（後期）の結果より

1月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

学校教育目標・基礎学力定着など、梅津小学校教育を進める上で、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童・教職員の三者の比較ができるようにしました。保護者の方・児童にはどれだけできているかの「実現度」を、教職員にはどれだけ指導をしているかについての「実現度」を尋ねました。

確かな学力 項目		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
毎日の学習がよくわかる。 （わかる授業の工夫）	保護者	33.2%	62.2%	4.5%	0.0%
	児童	51.8%	40.8%	6.2%	1.3%
	教職員	10.3%	89.7%	0.0%	0.0%
自分の考えをもち、自信を もって伝える。発表する。	保護者	16.0%	55.4%	25.3%	3.3%
	児童	32.3%	32.3%	23.8%	11.7%
	教職員	10.3%	75.9%	13.8%	0.0%
人の話を考えながら聴く ことができている。	保護者	17.5%	59.8%	19.9%	2.7%
	児童	53.6%	37.4%	7.0%	1.9%
	教職員	6.9%	75.9%	17.2%	0.0%
意欲的に読書をしている。	保護者	14.8%	31.1%	38.4%	15.7%
	児童	39.1%	25.7%	22.3%	12.8%
	教職員	25.0%	67.9%	7.1%	0.0%
宿題や自主学習をしている。	保護者	33.1%	53.9%	10.2%	2.7%
	児童	57.8%	28.4%	10.2%	3.6%
	教職員	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%

### <考察>確かな学力

「自分の考えをもち、自信をもって伝える。発表する。」の項目では児童の満足度が前期よりも下がっています。梅津小学校では、子どもにつけたい資質・能力を「伝える力」とし、教育活動の中で「伝え合う」活動に取り組んでいますが、今後も主体的・対話的・深い学びに繋がるよう、授業改善を続ける必要があります。

「読書」の項目では、児童・保護者ともに満足度が前期よりも下がっています。朝学習での読書は定着しています。家庭でもテレビやゲーム、動画視聴などは時間を決めて行い、読書の時間を設定するなど読書習慣の定着を図っていただけたらと思います。

### 豊かな心 項目

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
気もちのよい挨拶ができる。	保護者	22.5%	48.9%	24.9%	3.6%
	児童	50.5%	34.6%	10.8%	4.0%
	教職員	30.6%	58.3%	8.3%	2.8%
決まりや約束を守ることができる。	保護者	45.0%	51.1%	3.6%	0.3%
	児童	52.4%	41.2%	5.1%	1.3%
	教職員	21.2%	72.7%	6.1%	0.0%
周りの人のために何かを がんばることができる。	保護者	27.6%	60.0%	11.5%	0.9%
	児童	54.7%	35.1%	8.1%	2.1%
	教職員	21.9%	71.9%	6.3%	0.0%
命あるものを大切にできている。	保護者	52.4%	44.3%	3.0%	0.3%
	児童	79.0%	17.2%	2.1%	1.7%
	教職員	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
子どもが時間を意識できるよう になっている。	保護者	15.7%	49.1%	30.7%	4.5%
	児童	49.8%	39.4%	8.3%	2.5%
	教職員	25.7%	74.3%	0.0%	0.0%
学校に来るのが楽しい。（子どもが大切にされ認められる学校である。）	保護者	24.2%	67.7%	7.9%	0.3%
	児童	62.3%	22.7%	10.2%	4.9%
	教職員	30.3%	66.7%	3.0%	0.0%
友だちを大切にし、 誰とでも仲良くできる。	保護者	37.8%	56.5%	5.7%	0.0%
	児童	75.5%	21.3%	2.1%	1.1%
	教職員	22.6%	77.4%	0.0%	0.0%
憧れや目標にしている人がいる。 （憧れや目標の話をしてる。）	保護者	18.4%	41.9%	32.2%	7.5%
	児童	67.1%	14.7%	7.9%	10.3%
	教職員	23.3%	73.3%	3.3%	0.0%

### <考察>豊かな心

「あいさつ」に関してはまだまだ定着できていないようです。自由記述の欄にもありますが、学校外であいさつができないと感じられる場面が見受けられるようです。引き続き、特定の人のみならず、他者意識・相手意識をもって、進んでコミュニケーションをとる大切さを伝え、いつでも、どこでも、誰にでも気持ちのよいあいさつができる子どもを育てていきたいと思います。

今後も人と人とのつながりを大切にし、きまりやルールを守ることの必要性を実感できる取組を推進し、豊かな心を育てていきます。

健やかな体 項目		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
基本的な生活習慣が身についている。（早寝早起き・朝食）	保護者	36.6%	48.6%	13.5%	1.2%
毎日早寝早起きをしていますか。	児童	38.1%	36.6%	20.0%	5.3%
毎日朝ごはんを食べていますか。	児童	82.1%	10.6%	4.7%	2.6%
基本的な生活習慣が身についている。（早寝早起き・朝食）	教職員	25.9%	74.1%	0.0%	0.0%
進んで体を動かしたり、スポーツ活動に参加している。	保護者	37.8%	32.5%	24.8%	5.0%
	児童	59.1%	21.5%	11.3%	8.1%
	教職員	18.5%	74.1%	7.4%	0.0%

＜考察＞健やかな体

前回にも触れましたが、基本的な生活習慣について、「早寝早起き」「朝食の摂取」「運動習慣」など、良い生活習慣をつけている児童は学力も高いと考察されています。

学校では、休み時間に密を避けながら外遊びをしたり、体育の学習では、接触を避けるようにやり方を工夫したりして、制限のある中でもできるだけ体を動かせるように取り組んでいます。

「早寝早起き」については25%ほどの児童が思わないとしています。コロナ禍により家で過ごす時間が増えている家庭もあるかと思えます。長時間、携帯・ゲーム機などを使用して就寝時刻が遅くなるといったことがないように、規則正しい生活習慣を心がけてほしいと思います。

連携 項目		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
子どもの成長や課題の共有	保護者	29.8%	62.3%	7.0%	0.9%
	児童	48.0%	34.3%	11.9%	5.8%
	教職員	24.1%	72.4%	3.4%	0.0%

＜考察＞連携

今年度は、参観が少なく、学級懇談会も実施できておらず、担任と保護者が直接話す機会が減りました。そのため、電話や連絡帳にて日常的に連絡を取り合ったり、学年だよりやホームページで学校の様子を発信したりすることで、子どもの成長や課題の共有に努めています。ご質問ご意見がございましたら、些細なことでも結構ですので、遠慮なくお問い合わせください。

～自由記述欄より～

- ・コロナで今まで通りにできないことの多い中、たくさん工夫して努力していただいております。ありがとうございます。
- ・担任の先生には日ごろから細かな連絡をいただき、子どもの様子についてよく見てくださっていることをいつも実感しています。コロナで行事が少なくなったり、授業時間が長くなったり、学校生活のさまざまな変化がある中、心身の面でフォローしていただき、感謝しています。
- ・担任の先生には本当にお世話になっています。時には厳しく、しかしとても愛のある指導をしてくださり、いっぱい褒めてくださり、うちの子は先生のおかげで大きく成長することができました。感謝しかありません。
- ・丁寧に指導していただいているなど、ノートやプリント等を見たらわかります。ありがとうございます。
- ・心配なことがあれば小さなことでも連絡帳に書いておくなど担任の先生よりコメントをいただけてうれしく思います。日々の些細な出来事にも先生に気づいていただけて、安心して学校に送り出すことができています。
- ・学校からのお便りは端的な短文で、とても分かりやすく助かっています。いつもありがとうございます。

⇒学校側の見解です。

温かい励ましの声をたくさんいただき、ありがとうございます。これからも子どもたちのために全力を尽くしてまいります。

上記以外にも、新型コロナウイルス感染症対策、オンライン教育、あいさつなどにかかわってご意見をいただきました。今回いただいたご意見は全教職員で共有しております。継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは具体的に改善するなど、よりよい梅津教育を進めていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

～『学校運営協議会』より、評価結果についてのご意見をいただきました～

- ・自分の考えを伝える環境づくりも大切にしてください。
- ・家庭でもテレビやゲームを消して一日10分の家族での読書タイムや、親子で好きな本の話をするなど子どもと本をつなぐ時間をつくってもらえたらと思います。
- ・児童に憧れや目標にしている人がいることを保護者は気付いていないのかもしれない。家庭内でも子どもの夢や目標を深く話し合うとわかるかもしれないと思いました。
- ・コロナ禍の中、保護者から感謝の言葉が多く寄せられていることがわかりました。学校の努力とそれを理解し感謝する関係性が築けているよい学校であり、よい地域だと感じました。
- ・いつも子どもたちのためにありがとうございます。このような状況下でいろいろと苦心していただき、感謝しかありません。